

問1 土地が流れる水によってけずられ、流され、海や湖の底に広がって積もり、それが積み重なって厚くなることでできるものは何ですか。

問2 大地が動いたときに起こる、大地のゆれのことを何といいますか。

問3 火山がふん火することによって、よう岩で川がせき止められて湖ができたり、火山灰で田畑がうまったりして、大地のようすが変わることを何といいますか。

問4 砂やどろが混ざった土を水に流しこんだとき、つぶの大きさと沈む速さにはどのような関係がありますか。

問5 流れる水のはたらきによって運ばれたれき、砂、どろが、つぶの大きさによって分かれて水底に積もる現象を何といいますか。

問6 地層をつくっている主なものは、れきや砂のほかになにがありますか。

問7 火山が噴火したときにふき出し、地面に降り積もって地層をつくるものはどれですか。

問8 火山の噴火によってふき出されたものが風に運ばれて積もってできた、角ばった石や小さなあながあいた石、結晶などが含まれる地層を何といいますか。

問9 地震が起きたときに、大地に生じるずれのことを何といいますか。

問10 流れる水のはたらきによって地層ができるとき、けずられたり流されたりしたものは、どこに広がって積もりますか。

問11 れき岩は、砂のほかになにが固まってできた岩石ですか。

問12 地層をつくっているれきや砂の角がとれて丸みを帯びていることから、地層をつくる原因となったと考えられる自然のはたらきは何ですか。

問13 流れる水によって運ばれたれき、砂、どろが水底に積もるとき、つぶの大きさと沈む順番にはどのようなきまりがありますか。

問14 大昔の生きもののからだや、生活のあとが地層の中に残ったものを何といいますか。

問15 火山が活動して、よう岩が流れ出たり、火山灰が広い範囲に降り積もったりする現象を何といいますか。

問16 れき、砂、どろなどが積み重なってできた、しま模様のようなものを何といいますか。